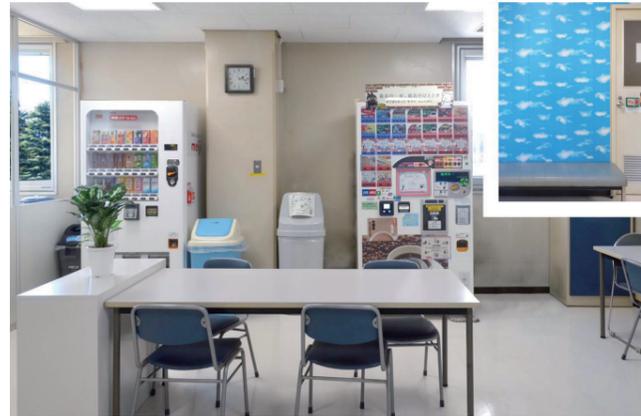


株式会社栃木ニコンプレシジョン



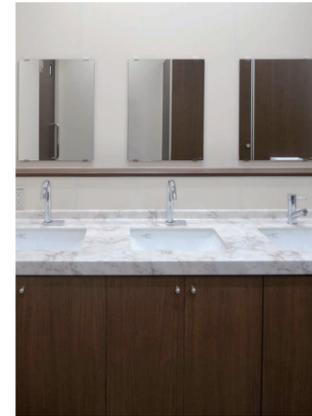
外観

「株式会社栃木ニコンプレシジョン」は、ニコングループの中核企業。栃木県那須高原の豊かな自然に囲まれたロケーションに位置し、光学関連の生産技術センターとして、露光装置を主に製造している。

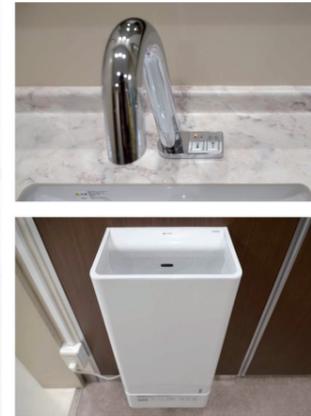


休憩スペース

ワーカーのリフレッシュスペースとなる、水まわりと隣接した休憩スペース。入口側にあしらわれた雲柄の壁紙は、従業員自らが貼ったもの。左側ガラス張りの部屋は、喫煙室となっている。



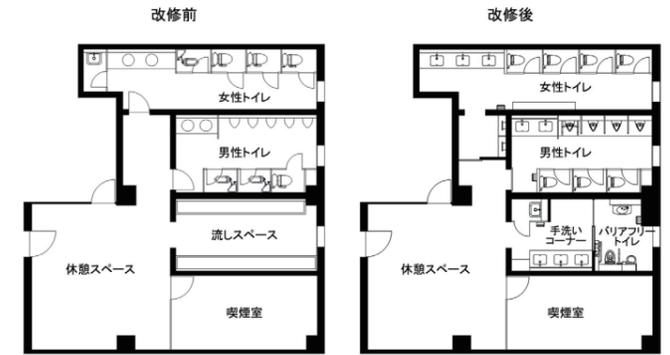
手洗いコーナー



トイレとは別に設置された男女共用の手洗いコーナー。3ヶ所の手洗いや器の内2ヶ所には、衛生性に配慮し、湯水切り替えと手動スイッチ付きの自動水栓を設置。水滴の飛散を抑制する吸引型のクリーンドライを採用した。

トイレ図面

流しスペースを縮小して、バリアフリートイレおよび男女共用の手洗いコーナーを新設。改修に際し、すべての便器を洋式化し、最新の器具に交換した。



水まわりの特長

改修の経緯

「株式会社栃木ニコンプレシジョン」は、ニコングループの中核企業であり、光学関連の生産技術センターである。築40年近くが経過し、老朽化したトイレでにおいの問題が発生していたため、408号館の西側トイレを改修。従業員満足度の向上およびダイバーシティとサステナビリティの実現を目指し、従業員からの要望や意見を収集し、改修計画を遂行。従来流しスペースとして使われていた場所を縮小して、車いす使用者やオストメイトに配慮したバリアフリートイレと男女共用の手洗いコーナーを新設した。また衛生性に配慮して、吸引型のクリーンドライや非接触で利用できる小便器と水栓を導入。さらに、女性トイレにスタイリングコーナーも新設するなど、現場の声を生かしたトイレに生まれ変わった。

水まわりの特長

器具選定にあたっては、TOTOテクニカルセンター東京で開催された「工場トイレセミナー」を受講。実際に、器具の利便性や性能、メリットなどを確認して決定した。大便器は、節水性や清掃性の高いパブリックコンパクト便器・フラッシュタンクを設置。便座は「きれい除菌水」機能を搭載したウォシュレットアプリコットPに、電池交換不要なエコリモンをセット。さらに、衛生性に配慮して、非接触で利用できる器具も採用している。風の吹き返しや水滴の飛散を抑制する吸引型のクリーンドライも、衛生的に使える点が採用の決め手となった。ほかにも、女性トイレのスタイリングコーナーの新設や小便器の間に仕切りを設けるなど、従業員満足度に配慮した、快適で衛生的なトイレ空間が実現した。

建築概要

名称	株式会社栃木ニコンプレシジョン
所在地	栃木県大田原市実取760
施主	株式会社栃木ニコンプレシジョン
設計	那須土木株式会社
施工	建築 那須土木株式会社 設備 株式会社みずほ

竣工年月 (改修) 2023年12月

敷地面積 203,000㎡

建築面積 66,589㎡

延床面積 94,828㎡

構造・階数 鉄骨造・地上2階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BCK

ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモン):TCF5831AU

棚付二連紙巻器-YH63BKS/自動洗浄小便器-UFS900JS

洗面器-L501、L502/壁掛洗面器-L270C/台付自動水栓:TLE33003J

混合水栓:TLC32ER/クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ

コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAZ22R系

パブリック用手すり:T112CL10、T112CU22



バリアフリートイレ入口

手洗いコーナーの奥に新設したバリアフリートイレ。万が一の体調不良や緊急事態の際に、隣接した休憩スペースに知らせることができるようにプザーを設けている。



バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト・バリアフリートイレパックを設置。手洗いコーナーと同様の吸引型のクリーンドライを設置し、衛生性に配慮している。



男性トイレ

プライバシーに配慮し、小便器間には仕切り壁を設置。大便器ブースの1ヶ所にはL型手すりを設け、さらに、「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアプリコットPに、電池交換不要なエコリモンをセットした。



女性トイレ

洗面コーナーとスタイリングコーナーには、隣人の視線が気にならないよう個別鏡を採用。さらに、新設されたスタイリングコーナーには、仕切りを設置し、ヘアアイロンなどの使用を想定してコンセントも完備している。



女性トイレ

大便器は、奥行きがコンパクトで連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式(掃除口付き)を採用。改修前より、女性従業員からの要望で小物入れが設置されていたが、これを機に新品に交換。



改修前

改修前は、洋式便器も設置されていたが、一部のブースに和式便器も残されており、臭気の原因ともなっていた。

